

第1回 不登校対策セミナー

不登校児童生徒・保護者への支援とサポート

～自分の気持ちを受け止めてもらったその時から、人は動き始める～



日時 平成31年4月12日(金)

18:30～19:30

場所 米子市福祉保健総合センター
(ふれあいの里)

タッピングセラピー(TFT)SAMHSA公認
不登校カウンセリング・セラピー

「クローバー」代表 西村 明倫

一般社団法人

日本TFT協会診断レベルセラピスト

メンタル心理カウンセラー

ハートマス呼吸法トレーニングコーチ



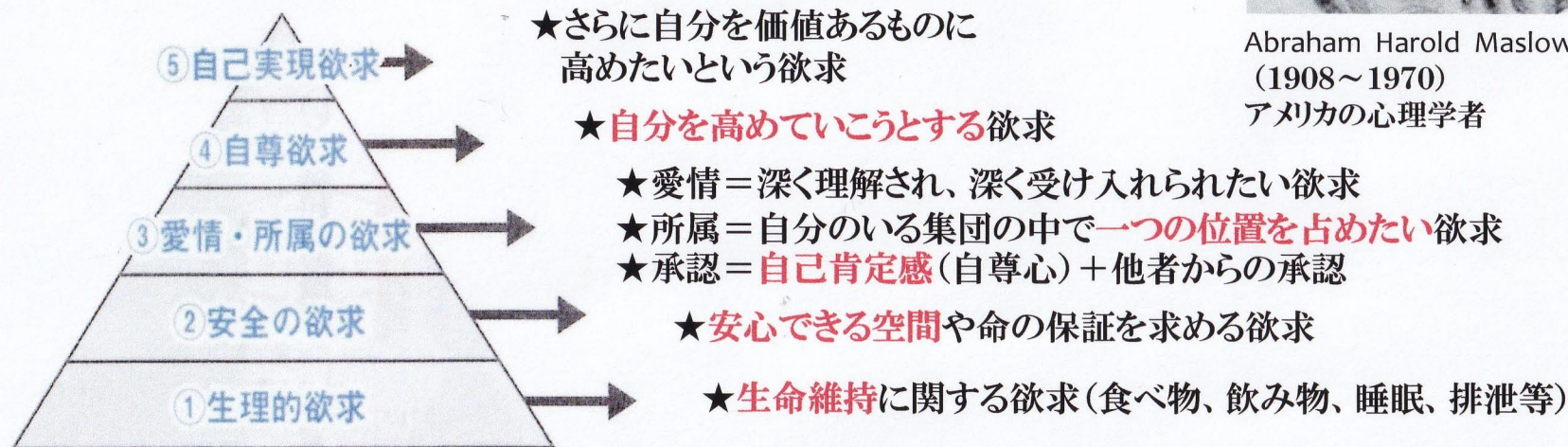
不登校の子どもの心理と解決への視点(1)

□視点1 「欲求階層論」から分析する不登校の子どもの心理

- 生理的欲求から順々に満たされていくものであり、途中でいずれかの欲求が満たされないと、その上位の欲求を充足することはむずかしい



Abraham Harold Maslow
(1908~1970)
アメリカの心理学者



★孤立感を感じている人の脳の反応を見ると、前部帯状皮質が活性化
= 身体的な痛みを経験しているときに活性化する部分とほぼ同じ

(Eisenberger, Lieberman, & Williams, 2003)

不登校でやってはいけない不適切な対応

□ 「負のスパイラル」に移行する要因について

○ 正論攻め、不安の伝達

- ・「子どもは学校に行って、勉強するものだ」
- ・「勉強をしておかないと、大人になってから困るよ」

○ 登校しないことに関する質問、苦言、怒り、叱責

- ・「いつになったら学校へ行くの？」
- ・「高校受験はどうするの？」

○ 強制、命令、要求、指示

- ・「～をきちんとしなさいなさい！」
- ・「～するのは子どもの仕事でしょ！」

○ 提案、アドバイス

○ 何気ない一言、ため息

等々

□ やってはいけない不適切な対応に共通することは、・・・



愛着理論をベースとした「3つのアプローチ」

- アプローチ1 「安心・安全を感じる接し方」
- 親の笑顔、夫婦の楽しい会話
 - 家族の和
 - スキンシップ
 - 共同活動
 - コミュニケーション

- アプローチ2 「心温まる言葉かけ」= 自尊欲求を高める言葉かけ
- あいさつ
 - ほめる・認める
 - 感謝する
 - 労わる・労う
 - 守る・支える
 - Iメッセージで愛情を伝える・気持ちを伝える
 - プラス言葉を創って生かす5つの方法
 - 肯定話法

- アプローチ3 「子どもと接するときの基本的な心構え」
- 受容する
 - 傾聴する(聞き切る)
 - 洞察する
 - 共感する = ○○○○共感
 - 尊重する

心の居場所

安心・安全を感じられる空間

自己肯定感

愛着関係の安定化

= 親子の愛着を深める○○の方法